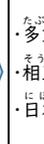


現状と課題を踏まえた今後の方向性

基本理念と基本目標

現状と課題

意識	<ul style="list-style-type: none"> 共生社会への意識に年代差が存在(若年層は肯定的、高齢層は慎重) 日本人市民の共生社会への「意識」と「行動」に乖離 日本人市民が望む共生社会への取組みは年代で傾向が相違(若年層:互いに学び合う意識が高い、高齢層:地域での交流促進の意識が高い)
交流	<ul style="list-style-type: none"> 交流が少なく、関わりが限定的 交流イベント等への参加意向の低さ 交流イベント参加への潜在的なニーズ 日本人市民・外国籍市民双方で、日本のルール、日本語・文化への理解促進が共通ニーズ
言語の違い	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の読み書き能力の不足 日本語習得における時間的制約 日本人市民・外国籍市民双方で、日本のルール、日本語・文化への理解促進が共通ニーズ【再掲】 日本語能力の不足が仕事に影響



教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校における日本語教育の不足 言語の違いによる保護者とのコミュニケーション不足 学校制度の周知や進路に関する情報提供の不足
----	---



就労	<ul style="list-style-type: none"> 言語の違いによるコミュニケーション不足 日本語能力の不足が仕事に影響【再掲】 外国人労働者の就労上の不満 外国人労働者を雇用する事業者の負担増
----	--



地域参画	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民とのコミュニケーション不足 外国籍市民の意見を反映する仕組みが未整備
------	---

生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 日本人市民・外国籍市民双方で、日本のルール、日本語・文化への理解促進が共通ニーズ【再掲】 必要な行政情報の不足 医療・保健、福祉、納税、防災など生活基盤に関する情報のニーズや支援の高さ 相談・支援体制の不足
------	--



今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生意識の醸成 相互理解を深める交流機会の創出・参加促進 日本語学習支援の充実
--

<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習環境の充実 外国籍保護者へのコミュニケーション支援の充実 支援人材の確保、支援体制の構築 国際教育の推進

<ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者への日本語学習支援 職場環境の改善 外国人材を雇用する事業所への支援
--

<ul style="list-style-type: none"> 地域活動への参加促進 活躍の場の創出 外国籍市民の意見を反映する仕組みの構築
--

<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の強化 相談支援体制の構築 生活支援の充実 医療機関における多言語化の推進 災害時における安心の確保
--

基本理念

共に理解し、共に活躍できるまち

基本目標

<p>お互いの文化・価値観を尊重し 支え合うことのできる 共生社会づくり</p>
--

<p>国際力を育む 教育環境の整備を通じた 共生社会づくり</p>

<p>外国籍の市民も 生き生きと活躍できる 共生社会づくり</p>

<p>安全・安心な共生社会づくり</p>
